

フロンティア研究院招聘研究者の講演のお知らせ

2016年1月15日

神取秀樹 研究室・URA オフィス主催

植物の光合成や動物の視覚などをはじめ、生物にとって光はなくてはならないものです。一方で紫外線などの光が生体に損傷を与えることもあります。

講演者の Tatiana Domracheva 准教授は、ドイツのマックスプランク研究所でフラビンを結合した光受容タンパク質を対象として、分子力学法や量子化学法といった計算化学によりその機能解明を目指した研究を行っています。計算化学の研究結果は、実験の解釈や光受容分子を開発するための研究戦略に役立つ協力なツールとして期待されています。

Title: “Computational studies of photosensitive flavoproteins: from spectroscopy to understanding functional mechanisms”

(フラビン結合光受容タンパク質の理論計算
~分光学から機能発現メカニズムの理解まで)

Tatiana Domracheva 准教授

(Max-Planck Institute for Medical Research, Heidelberg Germany)

開催日時：2016年1月22日（金曜日）16:00-17:00 (60分)

場所：4号館1F, 大ホール

Language: English

対象： 大学院生及び教員（生物物理学系に限らない）



Research field: Computational Photobiology, Biomolecules, Excited States, Photocycle, Photoreceptor Protein, Biophysics, Biochemistry, Bioenergetics, Molecular Mechanics, Quantum Chemistry

略歴

2009-2016	Max-Planck Institute for Medical Research, Heidelberg, Germany,	准教授
2004-2009	上記機関,	助教
2001-2004	上記機関,	ポスドク
2000	PhD. in Physical Chemistry, Moscow State University, Moscow, Russia	博士
1995	M. Sc (Diploma) in Chemistry, Mari State University, Yoshkar-Ola, Russia	修士

問合せ先: 内線 7424 (URA オフィス)